

プロジェクト研究課題（農林水産政策研究）の政策評価書（事前評価）

1．評価の対象とした政策	<p>平成17年度において新規を予定している以下の1課題のプロジェクト研究を対象に研究課題の事前評価を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none">・食品供給における安全・安心の確立ニーズがもたらすフードシステム及び貿易構造の変化の解明
2．評価を担当した部局及びこれを実施した時期	<p>本評価は、当省の国立試験研究機関である農林水産政策研究所（以下「政策研究所」という。）が来年度からの実施を予定しているプロジェクト研究課題について、予算要求の可否、研究計画の妥当性等今後の政策研究の適切な推進に資するため、平成16年8月に学識経験者による外部評価を受けた上で、政策研究所が行った。</p>
3．評価の観点	<p>本評価においては、必要性（政策の企画・立案への貢献、社会的ニーズへの対応、新規性・創造性）、効率性（研究計画の妥当性）、有効性（研究目標の達成可能性）、優先性（次年度に着手すべき緊急性）のそれぞれの観点から実施した。</p>
4．政策効果の把握と手法及びその結果	<p>政策研究という性格からみた研究計画、達成目標等を把握した。 その結果は、別添のプロジェクト研究評価報告のとおりである。</p>
5．学識経験を有する者の知見の活用	<p>3名の学識経験者を評価委員とし、書面による評価を依頼して専門的見地からの意見を聴取し、客観性及び透明性の確保を図った。 評価委員からの意見は、別添のプロジェクト研究評価報告のとおりである。</p>
6．評価を行う過程において使用した資料その他の情報	<p>評価の基本資料として、プロジェクト研究課題の予算要求資料及びプロジェクト研究のフロー図を使用した。 なお、評価に用いた資料については、知的財産権等の配慮から公開できないものを除き、ホームページにおいて公表する。</p>
7．評価の結果	<p>対象となるプロジェクト研究課題について、総合的な評価結果として、すべて「課題は重要であり、内容は適切」との評価がなされた。 このため、次年度の研究推進に当たっては、評価結果を踏まえ、特に研究成果の国際的整合性、適用する対象の限定に留意し、中間成果のまとめと行政への説明を速やかに実施するよう取り組むものとする。 なお、詳細な評価結果及び対応方針は、別添のプロジェクト研究評価報告のとおりである。</p>